

# 障がい者(児)福祉制度のご案内

問い合わせ先 / 市役所福祉課障がい福祉係 ☎76-8142、FAX.52-3749、✉ fukusi@owariasahi.lg.jp

## \* 福祉施策・サービス

障がいのあるかたが、より充実した生活を送るための福祉施策・サービスを紹介します。なお、各種制度を利用するには、県の機関が判定を行う手帳の交付が必要です(一部の制度は難病などによる障がいのあるかたも対象)。

### 手帳の種類

- 身体障害者手帳(身体に障がいのあるかた)
- 療育手帳(知的障がいのあるかた)
- 精神障害者保健福祉手帳(精神に障がいのあるかた)

## \* 手当

名称	対象者など	支給額	
手帳など 特別障害者	特別障害者手当	20歳以上で著しい重度の障がいがあり、日常生活で常時特別の介護を必要とするかた(長期入院者を除く)	月額27,350円
	障害児福祉手当	20歳未満で著しい重度の障がいがあり、日常生活で常時介護を必要とするかた(障がいを事由とした年金の受給者を除く)	月額14,880円
● 施設入所者を除く ● 所得制限・併給制限あり ● 支給月は2・5・8・11月 ● 障がいの程度、重複などの状況により1,050~6,900円を加算			
特別児童扶養手当	知的発達または精神、身体に障がいのある20歳未満の児童を養育しているかた(該当する障がいについてはこども課までご相談ください) ● 施設などの入所者を除く ● 児童の障がいを事由とした年金の受給者を除く ● 所得制限あり ● 支給月は4・8・11月	月額1級 / 52,500円 2級 / 34,970円	
在宅重度障害者手当	在宅で1・2級の重度身体障がい者、重度知的障がい者(IQ35以下)、身体障害者手帳3級を持つ中度知的障がい者(IQ50以下) ● 施設入所者・長期入院者を除く ● 平成20年4月1日以降に手帳を65歳以上で新規に取得されたかたを除く ● 所得制限・併給制限あり ● 支給月は4・8・12月	月額6,750円 ※重度の身体・知的障がいを併せ持つ場合は月額15,500円	
重度心身障害児介護手当	18歳未満の1・2級の重度身体障がい児または重度知的障がい児(IQ35以下)の介護者 ● 施設入所者を除く ● 所得税非課税世帯 ● 併給制限あり ● 支給月は3・6・9・12月	月額10,000円	

## \* 医療費の助成・補装具の交付

名称	内容	対象者
自立支援医療(更生医療)	身体機能の回復を図るために必要な医療費の給付	身体障がい者(事前に手続きが必要。所得に応じた自己負担あり)
自立支援医療(育成医療)	生活能力を得るために必要な医療費の給付	18歳未満の身体障がい児(事前に手続きが必要。所得に応じた自己負担あり)
自立支援医療(精神通院)	精神的な病気の治療のためにかかった通院医療費を給付	精神障がい者(事前に手続きが必要。所得に応じた自己負担あり)
精神障害者医療費の助成	精神的な病気の治療のためにかかった医療費を助成 ● 通院医療費 / 上記自立支援医療(精神通院医療)の自己負担額 ● 入院医療費 / 医療保険における自己負担額の2分の1(精神障害者保健福祉手帳1・2級のかたは障害者医療費で医療保険における自己負担額の全額)	● 通院医療費 / 自立支援医療(精神通院医療)給付を受けているかた ● 入院医療費 / 精神保健福祉法第5条に規定する病気で入院したかた
障害者医療費の助成	医療保険における自己負担額を助成	● 1~3級の身体障がい者(腎臓機能障がいは4級、進行性筋萎縮症は4~6級も対象) ● IQ50以下のかた ● 自閉症状群と診断されているかた ● 精神障害者保健福祉手帳1・2級で自立支援医療(精神通院医療)給付を受けているかた(受けていない場合は入院のみ)
後期高齢者福祉医療費の助成	医療保険などにおける自己負担額の全額もしくは一部を助成	後期高齢者医療被保険者で、上記精神障害者医療費と障害者医療費の助成対象者
補装具費の支給	身体機能の障がいを補い、日常生活を容易にするための器具(義手、義足、装具、補聴器、車いすなど)の購入・修理・貸与に必要な費用を支給(事前に申請が必要)	身体障がい者、難病などのかた ● 障がいの内容により用具などの制限あり ● 自己負担あり ● 介護保険が優先

## ＊ 住宅の整備・在宅生活の支援など

名称	内容	対象者
住宅改修費の給付	自宅の段差解消などの改修を行う際の居宅生活動作補助用具の購入費や改修工事費を給付(上限20万円)	1～3級の身体障がい者(下肢または体幹機能障がい)、難病などのかた(介護保険が優先)
日常生活用具の給付	自力で日常生活を送ることができるよう生活用具(特殊寝台、入浴補助用具、歩行支援用具、視覚障害者用時計、点字器、拡大読書器(暗所視支援眼鏡含む)、火災警報器、電気式たん吸引器、人工鼻、ストマ装具など)を給付	重度の障がい者、難病などのかた ●障がいの内容により用具などの制限あり ●自己負担あり ●介護保険が優先
訪問入浴サービス	家庭で入浴することが困難な重度身体障がい者に移動入浴車を派遣	下肢・体幹機能に障がいのある重度身体障がい者
紙おむつの給付	月30枚給付	在宅のA・B判定の知的障がい者(児)で必要なかた
日常生活支援券の支給	「あさひスマイルチケット10,000円分」を支給	8月1日時点で障害者手帳をお持ちの市民税非課税のかた(施設入所者などを除く) ●申請不要 ●配布は9月以降

## ＊ 社会生活、交通などの支援

名称	内容	対象者
自動車改造費の助成	就労などに伴い自動車のハンドルやアクセルなどの改造が必要な場合、経費の一部を助成(上限10万円。なお、5年未満の再申請の場合は別途上限制限あり)	運転免許証の「免許の条件等」に改造車のみ限定する条件を付された身体障がい者(所得制限あり)
自動車運転免許取得費の助成	就労などに伴い自動車教習所で普通自動車免許を取得する場合、経費の一部を助成(上限10万円)	身体障害者手帳の交付を受けているかた(免許取得後、6カ月以内に申請)
移送サービスの助成	特殊車両(リフト付き車両)を利用する際の利用料を助成●1回当たり4,000円以内●年12回分 ●障がい者タクシー・高齢者バス・タクシー利用助成との併用不可	要介護4・5のかた、身体障害者手帳の交付を受け、障がいの程度が肢体不自由(上肢機能障がいを除く)の1・2級のかた
タクシー料金の助成	初乗りの基本料金(500円以内)を助成●年間36回分●チケットが必要●利用できるタクシー会社の制限あり●移送サービス・高齢者バス・タクシー利用助成との併用不可	●1・2級の身体障がい者 ●下肢・体幹機能障がい3級の身体障がい者 ●A・B判定の知的障がい者 ●1級の精神障がい者(自動車税などの減免を受けている場合を除く)
有料道路通行料の割引	障がい者自ら運転または介護者の運転により有料道路を利用する際の通行料を割引●自己または生計を同一にするかたの所有する乗用車の登録が必要●割引率50%(ETC可)	本人運転／身体障がい者 介護者運転／第1種の身体障がい者・知的障がい者
鉄道・航空・バス運賃の割引	障がい者とその介護者が利用する場合の運賃などを割引(利用制限あり)	各事業者にお問い合わせください
NHK放送受信料の免除	●NHKへ免除申請書(福祉課で配布)を提出した月から免除 ●福祉事務所長の証明が必要	全額減免／身体・知的・精神障がい者が世帯構成員で、世帯全員が市民税非課税の場合 半額減免／世帯主が視覚・聴覚障がい者、1・2級の身体障がい者、A判定の知的障がい者、1級の精神障がい者のいずれか

## ＊ その他の福祉サービス

障がいの内容などにより次のサービスを受けられます。なお、サービスの利用には受給者証が必要です。

介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所(ショートステイ)、療養介護、生活介護、施設入所支援
訓練等給付	自立訓練(機能訓練・生活訓練)、宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援(A・B型)、共同生活援助(グループホーム)、就労定着支援
障害児通所給付	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援
地域生活支援事業	移動支援、日中一時支援、地域活動支援センター、訪問入浴